



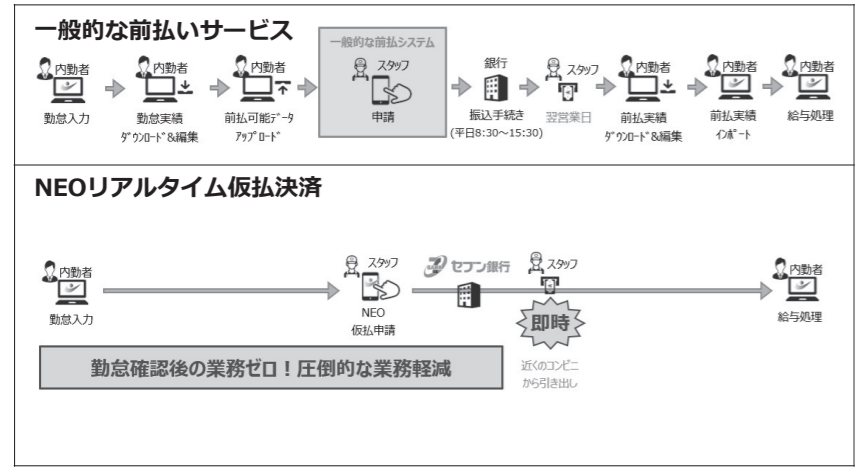
長沢淳博 (ながさわ あつひろ)
 1992年一橋大学商学部卒業。同年信託銀行入社。個人向け商品営業や証券信託の事務企画を担当。2004年アイワイバンク銀行(現・セブン銀行)入社、事務企画を担当。2010年より商品サービス部に、新商品・サービスの開発全般を担当。2016年よりセブン・ラボに所属。銀行全般の新規事業開発やオープンイノベーションを推進。現在、セブン銀行 セブン・ラボ次長。最近ハマっているものはスマートスピーカー。用途に合わせて3台を使いこなす。

語が多いのでできるだけお手柔らかにお願いします。
 (長沢) はい、このサービスは当社のAPIと人材派遣会社の基幹システムが連携して初めて成り立つサービスです。イメージとしては自動車のワイパーと運転席について

(森元) ところが、ある課題がクリアしたことにより急に進展があり一気に完成に向かっています。当社のシステムをご利用いただいているエントリーさんからセブン銀行セブン・ラボさんの提供されているAPI※の仕様の事も伺っています。理解していただき、エントリーさんのお取組みで実績もあったということ、もと

いる実行ボタン、その通りですね。早いもので振り返ってみるとエスアイ・システムさんとシステムが連携できるようになって1年が経過しています。
 (森元) そうですね。昨年の初夏あたりにセブン銀行セブン・ラボさんと当社で飲みながら絶対に成功させると誓った思い出が懐かしいです。(笑)
 (水野) その頃、この連載の初回でも登場した短期派遣のエントリーさんはエスアイ・システムさんの基幹システムを導入していて、そのエントリーさんもセブン銀行セブン・ラボさんと即時払いの実現に向けて話し合いを進めていた。
 (長沢) そうです。エスアイ・システムさんのことはエントリーさんから聞いていました。しかし、どの機能とどの機能をどの順番で連携していったらいいのか、どういった座組み※をしていったらいいのか、システム提携の全体像がなかなか描けませんでした。

度度もテストし、今回の連携が実現したのです。
 (水野) こうして人材派遣業界初の即時払いサービス「NEOリアルタイム仮払決済」が完成したのですね。
 (長沢) 付け加えさせていただきます。このAPI連携は当初は当行の口座だけの対応だったのですが、そこからエスアイ・シ



■図 NEOリアルタイム仮払申請のスキーム図

「サービス開発に携わった当事者だけが知っている」 第3次給与革命のツボとは？

Fintechを活用しいつでもどこでもスタッフが給与を受け取れるサービス
 「NEOリアルタイム仮払決済」誕生秘話



これまで2回にわたり、セブン銀行が開発したリアルタイム振込機能と人材派遣基幹システムの連携による派遣スタッフの定着率、募集効率の向上について取り上げた。人材派遣業界におけるFintechサービス(金融システムのIT化)の登場は、いつでもどこでも派遣スタッフが給与を受け取れるサービスを生み出し、派遣で働く人たちの生活をより便利にしていくと期待されている。連載の最終回ではこのサービスをセブン銀行と初めて完成させたエスアイ・システム代表森元潤治氏と、前号に引き続きこのサービスの大動脈であるAPIの開発元、セブン銀行セブン・ラボ次長長沢淳博氏が登場。リアルタイム振込機能と連携した「NEOリアルタイム仮払決済」の誕生秘話と活用のポイント、来春実現するメガトレンドについて語ってもらった。(聞き手・構成 水野臣介)

今回のシステム連携に関わったメンバー。右から株式会社セブン銀行セブン・ラボ専務執行役員 松橋正明氏、株式会社エスアイ・システム代表取締役 森元潤治氏、株式会社セブン銀行セブン・ラボリーダー 西井健二郎氏

人材派遣業界初のチャレンジから1年

(水野) まず、はじめに読者のみなさんが混乱しないように基本知識のおさらいをさせていただきます。セブン銀行の開発したリアルタイム振込機能というAPI(※参照、自動車でいうとパワーウィンドウやワイパーのボタンのようなもの)を使って人材派遣業界で初めていつでもどこでもコンビニのATMで給与を引き出せるサービス「NEOリアルタイム仮払決済」が完成したということですね。こういったお話は専門用



森元潤治 (もりもと じゅんじ)
 1977年北海道生まれ。大手システムベンダーを経てフリーランス、2005年27歳でエスアイ・システムを創業。開発と営業を両輪で掛け持つ。2007年30歳を目前に人材派遣向け業務管理システム「STAFF EXPRESS」を生み出す。現在では全国で6000ライセンス。最近ハマっているものは「筋トレ」。

STEMさんが何度もブラッシュアップにご尽力くださり、他行宛ての送金も含めて大きな連携ができそうだということになり、「行けるぞ」ということになりました。

現在はセブン銀行の口座の資金移動が24時間365日、即時可能ですが他行宛ての送金はリアルタイムではありませんが受付時間が9時から15時と受け取れる時間帯が限定されています。後でも述べますが、当社では来春に他行を含めた送金が24時間365日可能になることもあり、本サービスはますます利便性が上がります。

FinTechサービス「NEOリアルタイム仮払決済」の誕生、4つの進化

(水野) まず読者の皆様に知っていただきたいのですが、もともと従来の前払いサービスの導入メリットは2つ。ひとつはスタッフの募集率の向上、もうひとつは就業したスタッフの定着率を高めるといったものでした。当然ながら、この2つの導入メリットを前提とした上で、今回の提携で完成した「NEOリアルタイム仮払決済」のさらに進化した4つのポイントについて教えてください。また、第1に仮払申請をする時(リアルタイム)に着金します。例えばスタッフさんの仕事が終わリスマホから仮払申請を実行するとほぼ同時に近くにある

コンビニのATMで給与として現金を引き出せるわけです。従来の前払いサービスは申請から給与受け取りまで一定のタイムラグがある。それを解消したわけです。

第2に従来の前払いサービスで申請行為の際に生じていた勤怠実績などのアップロードやダウンロード、編集作業など煩雑な業務は一切ありません。スタッフが仮払申請すれば自動的に給与計算されそのままスタッフの口座に振り込みされる。自社の給与関連の事務スタッフの業務低減に役立ちます。

第3に圧倒的な低料金。1回あたりの利用料金は従来の前払いの半額から1/10でご提供できます。スタッフさんの福利厚生観点から0円プランを構想中です。このサービスを導入することで新規のスタッフさんを獲得してほしいという思いが強いです。導入していただいた人材派遣会社で月間新規登録数が導入前より3割アップしたと聞いたことがあります。

第4に最後のポイントですがこのサービスを使えば人材派遣会社が自社の仮払いのルールや仕組みを設計できるということです。従来の前払いサービスは前払いの限度額があらかじめ決まっていたのですが、このサービスは利用する人材派遣会社が各社で独自に設定できるのです。

(水野) 今後の展望についてお願いします。(長沢) 全銀システム※のバージョンアップ

よそ60・000人が利用中。

○給与前払いサービス
従業員の要望により、実際の給与支給日より前に、給与が受け取れるサービスで、雇用企業が直接提供するケースと、専門の事業者が提供するケースがある。いわゆる「前借り」(まだ働いていない将来の分まで受け取る)ではなく、実際に働いた分の対価として、一定の金額が先に支払われるもので福利厚生として導入されている。

○リアルタイム振込機能
セブン銀行が企業向けに提供する機能で、振込指示を受けて即時に振込を実行する機能。今回のエスアイ・システム社との連携により、派遣会社は当日働いた分の給与をその日のうちにセブン銀行のATMで支給することが可能になる。

○API
アプリケーションプログラミングインターフェイスの略称。ソフトウェア間の情報や指示等の送受信等を定めたものでAPIを利用する事でソフトウェア間の機能連携等を安全かつスムーズに行えるようになる。

○全銀システム(全国銀行データ通信システム)
日本国内の金融機関相互の内国為替取引を

※注釈
○座組み システム構築などの設計を行うにあたり、各社の役割分担や商流等を具体化する。もともと歌舞伎用語。

○仮払い 最終的な金額がはつきりしない場合、一時、概算で金を払っておくこと。仮渡し。文中の場合、派遣時給で月一回の給与月額が確定するために用いた。

○STAFF EXPRESS (スタッフエクспレス)
エスアイ・システムが提供する人材ビジネス向け業務管理システム。事務派遣、製造派遣、販売派遣、エンジニア派遣など多岐にわたる派遣職種をカバーする。募集業務・案件、人員配置・契約・スタッフ勤怠・給与・請求を一元管理する。2007年にリリースし、現在では6・000ライセンスが全国の人材派遣会社に導入されている。

○STAFF EXPRESS NEO (スタッフエクспレス ネオ)
STAFF EXPRESSとクラウドでつながる、ひろがる登録スタッフ向けサービス。登録スタッフは、タブレット、スマートフォン、フィードバック経由で、スケジューリング申請、契約照会、勤怠申請、仮払申請、支給照会、ドキュメント照会、マイナンバー申請など、14のサービスを利用できる。現在お

プにともない2019年の春、当行と他行間の送金(振り込みなど)が24時間365日できるようになり人材派遣業界をはじめサービス業界のメガトレンドになるでしょう。現在、テストを何度も重ねるサービス完成を目指しています。手前味噌ではありますが人材派遣業界の皆様と当社のリアルタイム振り込み機能の連携を通じてFinTech時代の到来を実感しています。サービス導入の敷居がさらにさがることで、派遣で働くスタッフの皆様の生活をさらに便利にしていきたいですね。



コンピュータと通信回線を用いてオンライン処理を行えるようにした銀行間ネットワークシステムのことである。金融機関は銀行だけでなく、信用金庫や信用協同組合、農業協同組合等を含めたすべての民間金融機関が加盟している(日本銀行は除外)。2018年10月9日より一部の銀行間の資金移動が24時間365日即時決済できるようになる。

■会社概要
株式会社エスアイ・システム (本社 北海道札幌市)
 2005年に設立。
 2007年人材派遣業向けに業務基幹システム「STAFF EXPRESS」をリリースヒット。以降10,000点以上の継続的なブラッシュアップを行い、現在では全国の人材派遣会社で6,000ライセンスの利用実績にいたる。最近では、雇用保険・社会保険の手続きを電子申請できる「e-Gov」にも対応。

株式会社セブン銀行 (本社 東京都千代田区)
 2001年に設立。「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスを提供。セブン-イレブンをはじめ、交通・流通・観光の各拠点など「近くて便利」な場所へのATM設置を進めている。原則24時間365日稼働のATMを24000台以上設置し、銀行等600社以上の事業者様とATM利用で提携。